

御嵩町

南海トラフ巨大地震 亜炭鉱跡防災対策事業

巨大地震発生時に被害を拡大させる可能性のある亜炭鉱跡。
旧亜炭鉱採掘地域において地盤の調査、防災工事を行う事業です。



地盤の調査、防災工事の流れ

家屋調査(当初)

埋設管等調査



試掘

削孔(充填用、確認用、環境調査用)



ボーリングマシーン パーカッションドリル

プランヤード整備・設置



組立

充填確認センサーによる
リアルタイムでの確認



充填確認後、
次の場所へ移動
(すべての充填完了後)

最終充填確認



チェックボーリング
(不足の場合は再充填)

最終現場確認・撤去
(以下は同時に進行)

家屋調査(最終)

環境調査(最終)

プラント解体

完了

流動化処理土製造



フロー値の異なる
端部材と中詰材を
製造します。



運搬



配管

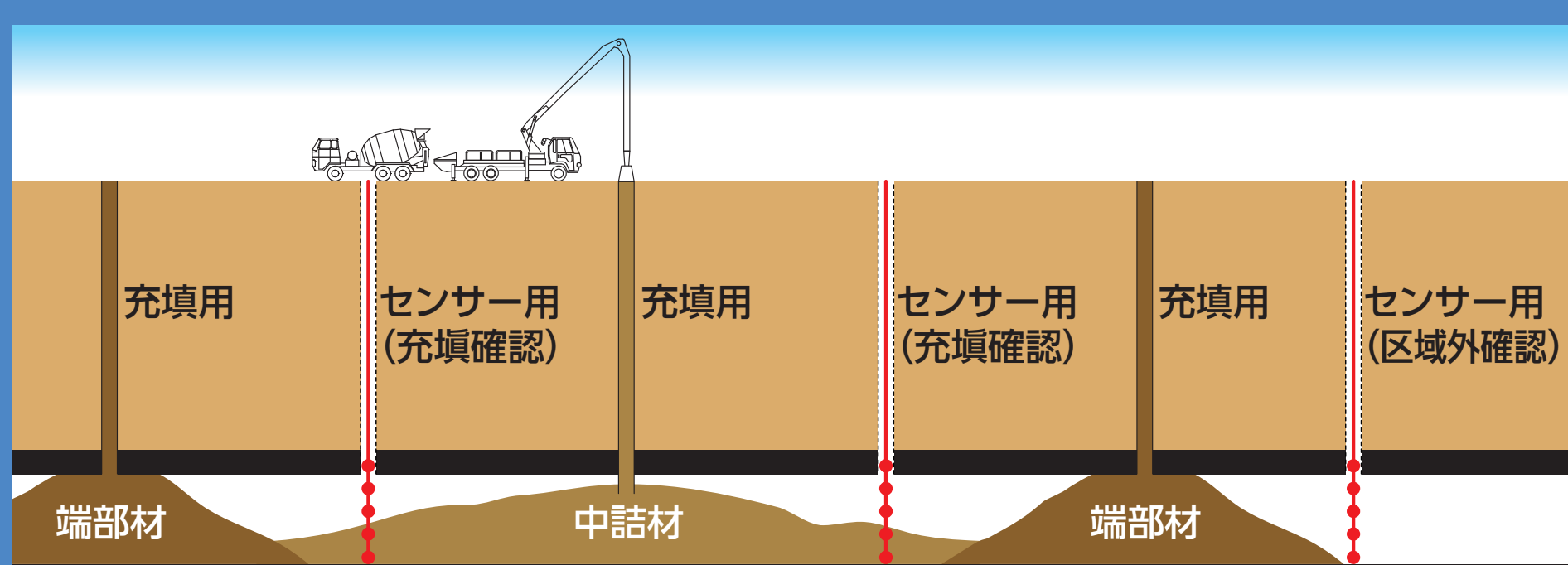


アジテータ車

充填・打設



打設風景



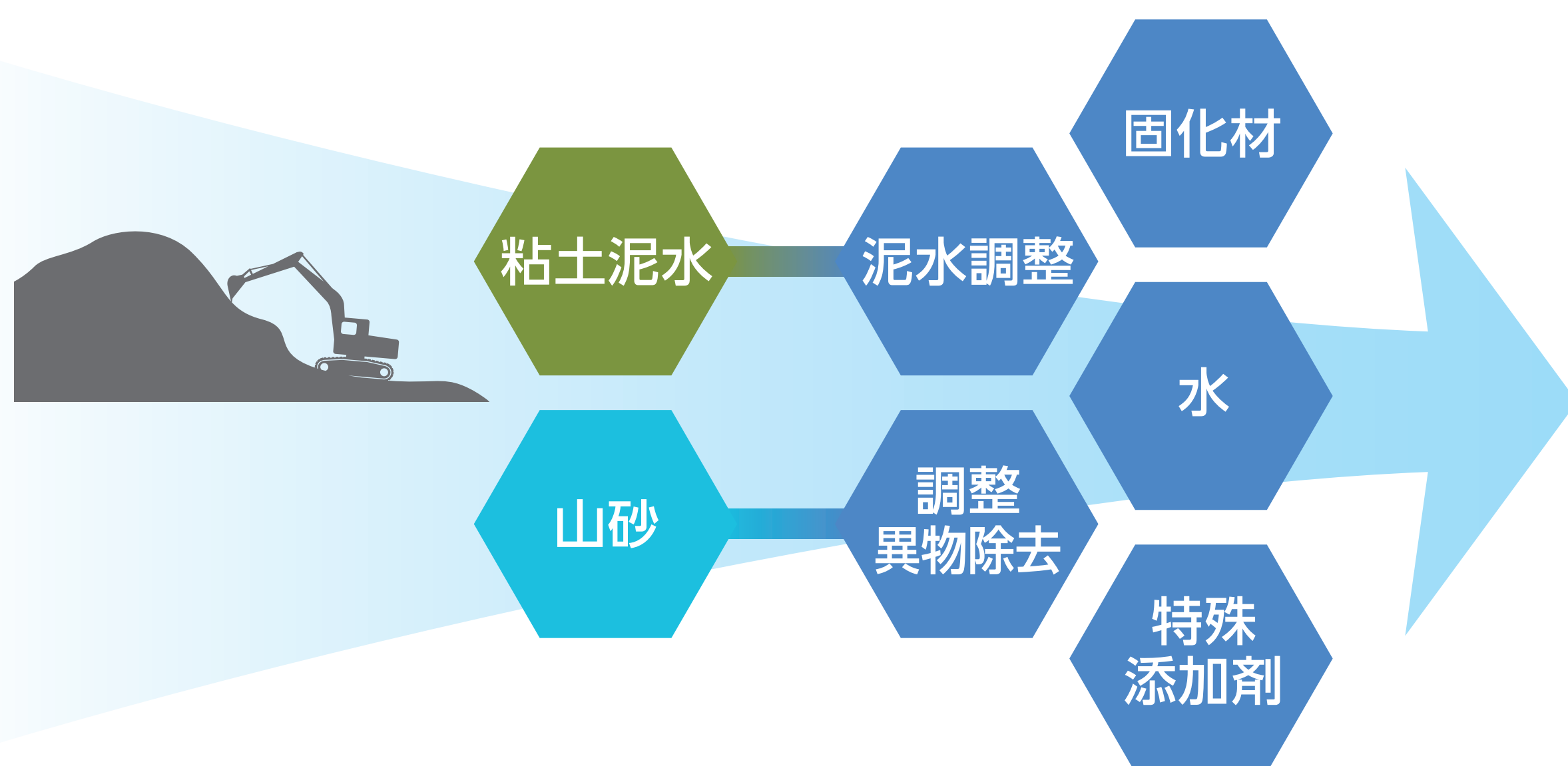


地下空洞の充填、埋戻しは、 流動化処理工法で行います

●特許取得済:技術、特許工法「特許番号:4482411号」等 ●グリーン購入法特定調達品目に認定

流動化処理土とは？

流動化処理土は建設発生土や泥土、残土を利用し品質管理された画期的な埋戻し材。
地下空洞への充填、地盤沈下の補修、水道管やケーブルなどの埋め戻しなどに多く利用されています。



専用プラントで製造



専用プラントで山土や泥土を調整、異物除去し、固化材を加えミキシング。施工現場に合わせた製品を製造します。

流動化処理土のメリットは？

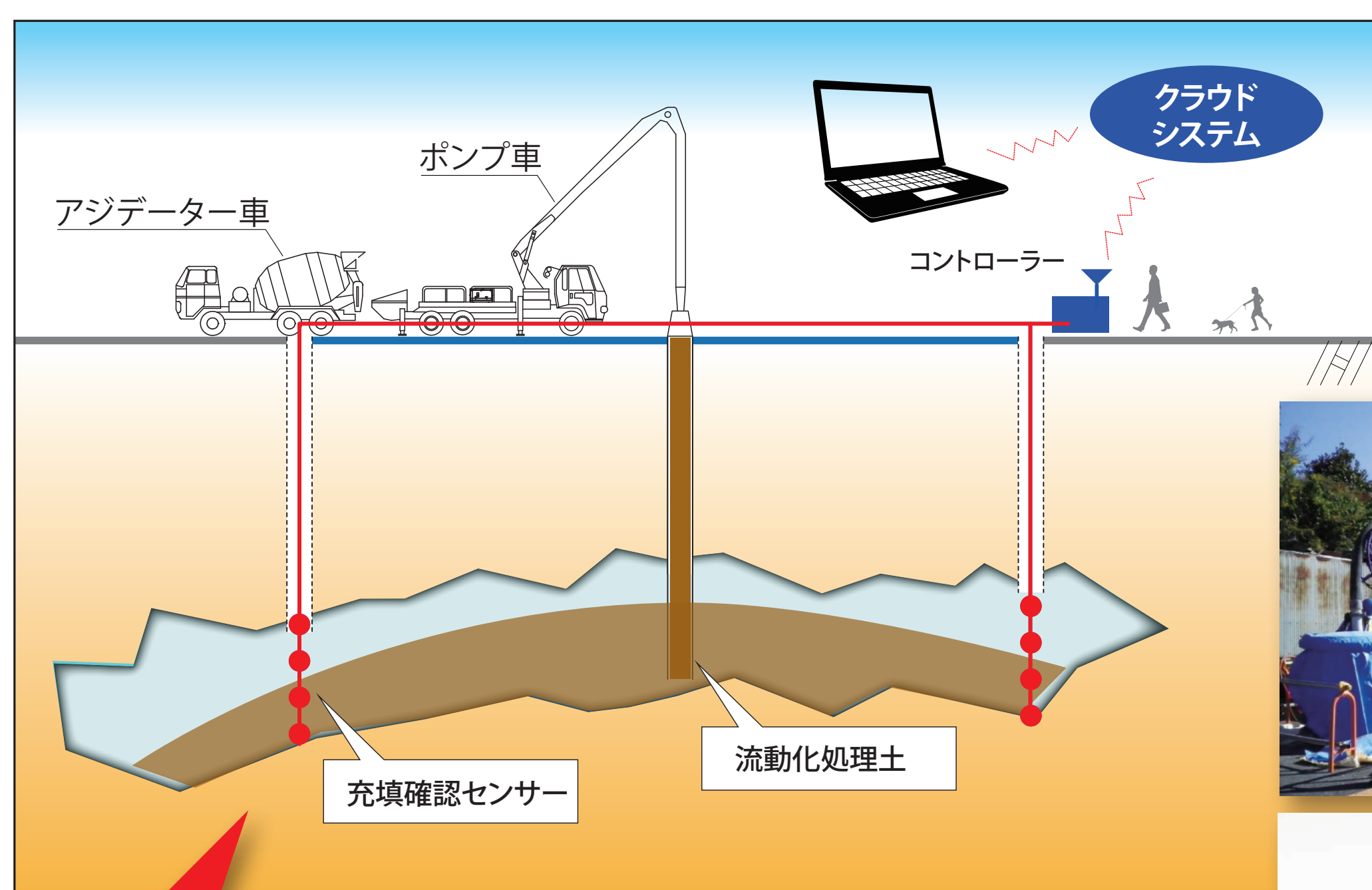
流動性・固化後の強度がコントロールできる

狭く複雑な空間や締固めの困難な箇所へ充填可能

固まった後でも掘り返しが容易にできる



流動化処理工法の流れ



施工時に充填確認センサーを設置、
空洞の隅々まで充填されているか
リアルタイムで確認します。



掘削機による穴あけ

センサーの設置

流動化処理土の充填

センサーによる充填確認

チェックボーリングによる充填確認